

平成25年度福井県公立学校教員採用選考試験実施要項

福井県教育委員会

| | | | |
|---------|---------------|---|----------|
| ◎ 受付期間 | 平成24年5月21日(月) | ～ | 6月1日(金) |
| ◎ 第1次選考 | 平成24年7月14日(土) | ～ | 7月15日(日) |
| ◎ 第2次選考 | 平成24年8月6日(月) | ～ | 8月10日(金) |

平成25年度に福井県公立学校(小学校、中学校、高等学校、特別支援学校)教員を採用するため、福井県公立学校教員採用選考試験を次のとおり実施します。なお、本県は校種別教科別の募集ではなく、公立学校教員をまとめて一括で採用します。

1 受験資格

(1) 一般選考

- ア 学校教育法第9条および地方公務員法第16条に規定する欠格条項に該当しない者で、次のイおよびウのいずれにも該当する者が受験できます。
- イ 受験する校種・職種・教科に相当する教諭の普通免許状または養護教諭の普通免許状を所有する者または平成25年3月31日までに取得見込みの者
- ウ 昭和28年4月2日以降に生まれた者(平成25年4月1日現在60歳未満の者)

(2) 身体障害者特別選考

- ア (1)の一般選考の受験資格に該当する者で、次のイおよびウのいずれにも該当する者が受験できます。
- イ 身体障害者手帳の交付を受け、その障害の程度が1級から6級までの者
- ウ 自力により通勤ができ、かつ、介護者なしに職務の遂行が可能なる者

(3) 平成25年度大学院修士課程修了時特別選考

- ア (1)の一般選考の受験資格に該当する者で、次のイおよびウのいずれにも該当する者が受験できます。
- イ 平成23年度または平成24年度福井県公立学校教員採用選考試験において、平成25年度福井県公立学校教員採用選考試験の特別選考受験を認められた者
- ウ 平成25年3月31日までに、選択して受験した専門教科の専修免許状を取得見込みの者

(4) スポーツ特別選考

- ア (1)の一般選考の受験資格に該当し、「保健体育」を受験する者で、次のイに該当する者が受験できます。
- イ 国民体育大会の正式競技および硬式野球において、次に掲げる実績を平成19年4月1日以降に収め、それ以後も引き続き活動を続けている者
 - (a) 国際レベルの大会(オリンピック大会、アジア大会およびこれに準ずる大会)に日本代表として出場した者
 - (b) 全国レベルの大会(日本選手権大会およびこれに準ずる大会)において団体種目はベスト4以上、個人種目はベスト8以上の成績を収めた者(ただし、団体種目については正選手として出場した者に限る。)

2 採用予定者数

(1) 一般選考

小学校、中学校および県立学校(特別支援学校を含む。)の教諭 約 180名
養護教諭 約 10名

(2) 身体障害者特別選考

若干名（一般選考の採用予定者数に含めます。）

(3) 平成25年度大学院修士課程修了時特別選考

一般選考の採用予定者数に含めます。

(4) スポーツ特別選考

若干名（一般選考の採用予定者数に含めます。）

3 受験手続および受付期間

(1) 志願書等受付

ア 志願者は、次の(2)提出書類を、平成24年5月21日(月)から6月1日(金)午後5時15分(時間厳守)までに、学校教育政策課人事給与グループに提出してください。

郵送の場合は必ず書留にし、特に、5月30日(水)から6月1日(金)までの間の郵送については、書留速達としてください。なお、封筒には「教員採用選考試験志願書在中」と朱書してください。郵送の場合は、6月1日(金)の消印のあるものまで有効とします。

イ 第1次選考から受験する志願者は「ふくe-ネット電子申請サービス」を利用してインターネット経由での受験申し込み(以下「電子申請」と表記します)ができます。

電子申請による申込みは上記アの受付期間の最終日の午後5時15分までに正常に受信したものに限り受け付けます。

※ ただし、下記の表の①～④の選考を希望する者は、第1次選考免除書類等の提出が必要のため「電子申請」を利用する申込みはできないので注意してください。

| 出願の種類 | 郵送または持参 | 電子申請 |
|--|---------|------|
| 一般選考(第1次選考より受験) | ○ | ○ |
| ①一般選考(第1次選考免除) ②身体障害者特別選考 ③平成25年度大学院修士課程修了時特別選考 ④スポーツ特別選考 | ○ | × |

※ 詳しくは、「福井県教育庁 学校教育政策課」ホームページ内の電子申請利用案内を参照してください。

(2) 提出書類

① 郵送または持参による出願の場合 ※ 提出書類は、折り曲げなしようにして一括して提出してください。

ア 平成25年度福井県公立学校教員採用志願書

志願書記入上の注意(P10)をよく読んで、所定の用紙に必要事項を記入してください。

イ 平成25年度福井県公立学校教員採用志願者登録票(記入例(P11~12))にならって記入してください。

ウ 返信用封筒 3枚(長形3号12cm×23.5cm)(住所、氏名「様」を記入し、90円切手を貼った、糊付きワンタッチシールのもの)

エ 受験票および写真票(所定の用紙に「氏名」、「受験する専門教科名等」を記入し、写真を貼ったもの)

* 受験票および写真票は、受付締切日後に受験者あてに返送します。受験票が6月末までに届かない場合は、学校教育政策課まで連絡してください。

※ 第1次選考免除を希望する者は、次のオ～コのいずれかの申請書を提出してください。

オ 第1次選考免除調書A(英語・芸術・国際貢献活動経験者の第1次選考免除を希望する者)

* 芸術は「音楽」「美術」のみ

カ 第1次選考免除調書B(他都道府県現職教員の第1次選考免除を希望する者)

キ 第1次選考免除調書C(講師等経験者の第1次選考免除を希望する者)

ク 身体障害者特別選考申請書(身体障害者特別選考を希望する者)

ケ 大学院修士課程修了時特別選考申請書(平成25年度・平成26年度・平成27年度大学院修士課程修了時特別選考を希望する者)

* 大学院修士課程在学証明書(大学院修士課程1年在学者で平成26年度修士課程修了時特別選考を希望する者)

コ スポーツ特別選考申請書(スポーツ特別選考を希望する者)

② 電子申請による出願の場合（ア～コの記号は前記「郵送または持参による出願の場合」と対応）
下記のことを、第1次選考試験の第1日目に必ず持参してください。

ア 志願書用写真 1枚（縦4.5cm×横3.5cm） および 写真貼付用ノリ

- ※ 写真は写真票と同じもので、裏面に「氏名」「受験する専門教科等」を記入しておいてください。
- ※ 志願書は電子申請により事務局で印刷したものを配付します。

ウ 返信用封筒 2枚（長形3号 12cm×23.5cm）（住所、氏名「様」を記入し、90円切手を貼った、糊付きワンタッチシールのもの）

エ 受験票および写真票（白色上質紙に印刷してください）

- ※ 電子申請により受験申し込みをした場合、受験票および写真票は「電子申請サービス」を通じて 6月下旬頃より電子データで交付されます。6月末までに交付されない場合は学校教育政策課まで連絡してください。（※詳しくはHPの「電子申請利用案内」を参照してください。）
- ※ 印刷した写真票をはさみで切り取り、志願書用と同じ写真（縦4.5cm×横3.5cm）の裏面に「氏名」「受験する専門教科等」を記入し、写真票に貼り付けておいてください。

その他の書類について

- イ 平成25年度福井県公立学校教員採用志願者登録票 … 電子申請時に登録します。提出は不要です。
- オ～コ これらの書類の提出が必要な以下の出願については、電子申請を利用することができません。
- ①一般選考（第1次選考免除） ②身体障害者特別選考 ③大学院修士課程修了時特別選考 ④スポーツ特別選考

(3) 書類提出先・電子申請申込み先

① 郵送または持参による出願の場合

福井県教育庁学校教育政策課 人事給与グループ

〒910-8580 福井市大手3丁目17番1号（福井県庁11階）

② 電子申請による出願の場合

福井県教育庁学校教育政策課ホームページ

<http://www.pref.fukui.lg.jp/doc/gakukyousei/>

「ふくe-ネット電子申請サービス」窓口アドレス

<https://www.e-tetsuzuki99.com/eap-jportal/fukui/>

4 選考試験

(1) 一般選考

① 第1次選考

ア 試験内容等

(ア) 一般教養 (イ) 教職専門

(ウ) 体育実技 …… 体力テスト 種目は、反復横とび、ハンドボール投げ、長座体前屈の3種目を実施します。

イ 試験期日および会場等

| 期 日 | 内 容 | 会 場 |
|---------------|-------------|------------------------------|
| 平成24年7月14日（土） | 一般教養、教職専門 | 福井県立高志高等学校 （福井市御幸2丁目25-8） |
| 平成24年7月15日（日） | 体育実技（体力テスト） | |

ウ 試験日の日程

第1日 7月14日（土）

| 時刻 | 8:30 | 8:50 | 9:00 | 9:10 | 9:20 | 10:35 | 11:05 | 12:05 | 12:10 |
|----|------|------------|------|-------------|------|---------------|-------|---------------|-----------------------------|
| 事項 | | 受付 (継続) | | 諸 注 意 | | 一般教養 (75分) | | 教職専門 (60分) | (電子申請者のみ) 書類等回収 (20分) |

第2日 7月15日（日）

| 時刻 | 8:30 | 9:00 | 9:10 | 12:00 | 12:30 | 13:00 | 13:10 | 16:00 |
|----|------|------------|------|-----------------|-------|-------------|-------|-----------------|
| 事項 | | 受付 (男子) | | 体 育 実 技 (男子) | | 受 付 (女子) | | 体 育 実 技 (女子) |

※体育実技（体力テスト）は全員受験してください。ただし、医師から体育実技（体力テスト）を禁止されている者または身体の都合や健康上の理由により体育実技（体力テスト）を受けられない者は、教職専門試験後に本部へ申し出てください。申出のあった者については、当日体育実技（体力テスト）を行わず別途指示します。

②第2次選考……第1次選考の合格者に、合格通知の中で日程等を連絡します。

ア 試験内容等

(ア) 適性検査 (イ) 作文 (ウ) 個人面接および場面指導

(エ) 選択して受験する専門教科等

(a) 中学校教諭、高等学校教諭、特別支援学校教諭（または、盲学校教諭、ろう学校教諭、養護学校教諭）および養護教諭の各免許状所有者（取得見込者）は、次の専門教科の中から、所有免許教科の一つを選択して受験してください。

国語、社会、地理歴史、公民、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、農業、工業、商業、英語、特別支援学校（以下「特支」という。）教諭に関する専門教科および養護教諭（以下「養教」という。）に関する専門教科

※ ただし、社会と地理歴史、社会と公民、社会と地理歴史と公民、地理歴史と公民の免許状所有者（取得見込者）は社会で受験してください。

地理歴史のみの免許状所有者（取得見込者）は地理歴史で受験してください。公民のみの免許状所有者（取得見込者）は公民で受験してください。

(b) 小学校教諭のみの免許状所有者（取得見込者）および前記（a）以外の専門教科と小学校教諭の免許状所有者（取得見込者）は、小学校学習指導（以下「小学校」という。）を受験してください。

※ ただし、前記（a）の専門教科の免許状取得者（取得見込者）は、小学校での受験はできませんので注意してください。

※ 例：小学校教諭と保健の免許状所有者（取得見込者）は「小学校」で受験。

小学校教諭と中学校国語の免許状所有者（取得見込者）は「国語」で受験。

(c) 筆記試験は、すべての専門教科等で実施します。

(d) 実技試験等は、「小学校」、「音楽」、「美術」、「保健体育」、「家庭」および「英語」において実施します。実技試験等の主な内容は次のとおりです。

| 対 象 | 実 技 試 験 等 の 主 な 内 容 |
|---------------|---|
| 「小学校」 受験者 | 次の小学校歌唱教材の中から、当日指定された2曲を伴奏のみ演奏します。 「新音楽の授業づくり」（教育芸術社）より ・「虫のこえ」（2年生歌唱教材）…P125 ・「春の小川」（3年生歌唱教材）…P129 ・「ふじ山」（3年生歌唱教材）…P130 ・「まきばの朝」（4年生歌唱教材）…P134 ・「スキーの歌」（5年生歌唱教材）…P140 ・「おぼろ月夜」（6年生歌唱教材）…P146 簡易伴奏ではなく、本格伴奏で弾くこととします。 |
| 「美術」受験者 | (1) デッサン (2) デザイン |
| 「保健体育」 受験者 | 共通3種目、選択2種目の合計5種目の実技試験を行います。共通種目は、水泳(泳法は自由)、陸上競技(ハードル)、器械運動(マット運動)とします。選択種目は球技(バレーボール、バスケットボール、ソフトボール)の中から1種目、武道・ダンス(縄、鑑、餅カス)の中から1種目、受験者が当日選択します。 |

| 対 象 | 実 技 試 験 等 の 主 な 内 容 |
|---------|---|
| 「音楽」受験者 | (1) 弾き歌い 次の中から、当日指定された曲を自らのピアノ伴奏で主旋律を歌います。 ・「赤とんぼ」 (三木露風作詞・山田耕筰作曲) ・「早春賦」 (吉丸一昌作詞・中田 章作曲) ・「夏の思い出」(江間章子作詞・中田喜直作曲) ・「花の街」 (江間章子作詞・團伊玖磨作曲) ・「浜辺の歌」 (林 古溪作詞・成田為三作曲) なお、伴奏は原曲または教科書によることを原則とします。ただし、移調は可とします。 (2) 器楽演奏 当日指定された曲をソプラノリコーダーで演奏します。 (3) 自由演奏 各自の選曲により声楽または器楽(和楽器を含む)のいずれかを演奏します。 なお、自由演奏に限り伴奏者の同伴を可とします。 |
| 「家庭」受験者 | (1) 食物 (2) 被服 |
| 「英語」受験者 | 英語による口頭試問 |

イ 試験期日および場所

| 期 日 | 内 容 | 場 所 |
|-------------------------|--------------------------------------|--|
| 平成24年8月 6日(月) | 適性検査、作文、専門教科等試験 ※英語による口頭試問は面接日に実施 | 福井県立高志高等学校 (福井市御幸2丁目25-8) 福井市成和中学校 (福井市城東3丁目10-1) |
| 平成24年8月 7日(火) 10日(金) | 個人面接および場面指導 (4日間のうち指定した1日) | |

(2) 身体障害者特別選考

ア 試験内容等

第1次選考・第2次選考ともに前記(1)一般選考と同じです。

イ 身体障害者特別選考対象者決定の通知

提出された書類等により、身体障害者特別選考対象者を決定します。その結果は受験票送付時に通知します。なお、身体障害者特別選考対象者にならなかった場合には、一般選考対象者として第1次選考から受験できます。

ウ 提出書類

身体障害者特別選考を希望する者は、P2の「3 受験手続(2)①」の提出書類ア～エに加えて、所定の「ク 身体障害者特別選考申請書」を提出してください。

(3) 平成25年度大学院修士課程修了時特別選考

ア 試験内容等

(ア) 適性検査 (イ) 個人面接

(ウ) レポート

(a) 内容・・・「大学院修士課程で学んだことをどのように学校で生かしていくか」について

(b) 様式・・・400字詰め原稿用紙3枚程度

または、A4用紙横書き(40字×30行)1枚程度

(c) 提出期限・・・平成24年7月19日(木)午後5時15分必着

(d) 提出先・・・福井県教育庁学校教育政策課人事給与グループ

イ 試験期日および会場(7月下旬に日程等を連絡します。)

(ア) 期日・・・平成24年8月6日(月)

(イ) 会場・・・福井県立高志高等学校 (福井市御幸2丁目25-8)

(4) スポーツ特別選考

ア 試験内容等

(ア) 適性検査 (イ) 作文 (ウ) 専門筆記試験 (エ) 個人面接および場面指導

イ スポーツ特別選考対象者決定の通知

提出された書類等により、スポーツ特別選考対象者を決定します。その結果は受験票送付時に通知します。なお、スポーツ特別選考対象者にならなかった場合には、一般選考対象者として第1次選考から受験できます。

ウ 試験期日および会場（7月下旬に日程等を連絡します。）

(ア) 期日・・・平成24年8月6日（月）適性検査、作文、専門筆記試験

平成24年8月7日（火）～8月10日（金）（4日間のうち指定した1日）

個人面接および場面指導

(イ) 会場・・・福井県立高志高等学校（福井市御幸2丁目25-8）

エ 提出書類

スポーツ特別選考を希望する者は、P2の「3の受験手続(2)①」の提出書類ア～エに加えて、所定の「コ スポーツ特別選考申請書」を提出してください。さらにP1の「1 受験資格(4)」に掲げる各大会の証明する大会の賞状の写し、競技団体が発行する成績証明書（開封無効）または日本代表として出場したことを証明する書類（開封無効）を提出してください。

ただし、写しの提出者は、6月6日（水）までに、原本を学校教育政策課へ持参し照合してください。

5 試験日の携行品等

(1) 第1次選考

| 対 象 | 携 行 品 |
|-------|--|
| 受験者全員 | <ul style="list-style-type: none"> ・受験票 ・筆記用具（消しゴムおよびHB程度の濃さの鉛筆等） ・体育のできる服装（トレパン、トレシャツ、内ズック等） ・上履きおよび下足入れ袋 |

(2) 第2次選考

| 対 象 | 携 行 品 |
|---------------|---|
| 受験者全員 | <ul style="list-style-type: none"> ・受験票 ・筆記用具（消しゴムおよびHB程度の濃さの鉛筆） ・上履きおよび下足入れ袋 |
| 「音楽」受験者 | <ul style="list-style-type: none"> ・ソプラノリコーダー ・自由演奏のときに使用する楽器（ピアノを除く）および提出用楽譜（声楽および器楽の受験者とも、当日2部（コピー可）用意してください） |
| 「美術」受験者 | <ul style="list-style-type: none"> ・H～5Bの鉛筆 ・定規 ・コンパス ・不透明水彩絵具（12色） ・色鉛筆（12色） ・筆（各種） ・筆洗バケツ ・パレット ・のり ・はさみ |
| 「保健体育」 受験者 | <ul style="list-style-type: none"> ・トレパン ・トレシャツ ・ズック（内外）等 ・水泳着および水泳帽 ・柔道着、剣道防具等（選択者に限る） |
| 「家庭」受験者 | <ul style="list-style-type: none"> ・調理実習に適した服装に必要なもの ・裁縫道具 {はさみ（布裁断用、糸切り用）、縫い針（長、短）、縫い糸（色つき）、まち針} |
| 「商業」受験者 | <ul style="list-style-type: none"> ・電卓（計算機能のみのものに限る）または、そろばん |
| 「工業」受験者 | <ul style="list-style-type: none"> ・関数電卓（計算機能のみのものに限る） ・直定規 ・コンパス ※関数電卓で計算機能以外の機能がついているものは使用を認めない場合があります。 |

6 第1次選考免除

(1) 免除される条件

P1の「1 受験資格(1) 一般選考のア～ウ」のすべてを満たす者で、次のア～ウのいずれかに該当するものは、第1次選考試験が免除されます。

ア 特に秀でた技能や実績、資格等を有する者

(ア) 「英語」の受験者のうち次に掲げる実績のいずれかを平成22年4月1日以降に取得した者

(a) 実用英語技能検定((財)日本英語検定協会)1級

(b) TOEFL(国際教育交換協議会)PBT600点・CBT250点・iBT100点以上

(c) TOEIC((財)国際ビジネスコミュニケーション協会)900点以上(公開テストのみ)

(イ) 「音楽」または「美術」の受験者のうち次に掲げる実績のいずれかを平成19年4月1日以降に収め、それ以後も引き続き活動を続けている者

(a) 国際レベルのコンクール、展覧会等で優秀な実績

(b) 全国レベルのコンクール、展覧会等で極めて優秀な実績

(ウ) 国際貢献活動経験者

独立行政法人国際協力機構法(平成14年12月6日法律第136号)の規定に基づく青年海外協力隊員として平成19年4月1日から平成25年3月31日までの間に2年以上の派遣実績を有する者

イ 現に他の都道府県の国公立学校に勤務している教諭または養護教諭

ウ 講師等経験者

次の(ア)(イ)のいずれかの条件に該当する者。講師等経験による免除は連続する3回までとします。ただし、(イ)の条件に該当する者については、平成24年度の教員採用選考試験を受験していなくても免除を受けることができます。なお、第2次選考受験者とは、第2次選考の試験をすべて受験した者をいいます。

(ア) 平成24年度教員採用選考試験第2次選考(平成23年8月実施)受験者のうち、当該試験受験後に福井県内の学校(学校教育法第1条に規定する学校)において、講師等の勤務実績がある者

(イ) 現在教職大学院(専門職大学院設置基準に基づき設置された教職大学院)在学2年次の者で、平成23年度または平成24年度教員採用選考試験を受験し、そのうち直近の試験における第2次選考試験受験者で、専修免許状を平成25年3月31日までに取得見込みの者

(2) 提出書類

ア 前記(1)免除される条件ア(ア)(イ)(ウ)のいずれかに該当する者は、P2の「3の受験手続(2)

①」の提出書類ア～エに加えて、所定の「オ 第1次選考免除調書A」および次の該当する書類等を提出してください。

(ア) 「英語」の受験者は、実施団体の発行する資格証明書(開封無効)または資格を証明できる書類の写しを提出してください。ただし、写しの提出者は、6月6日(水)までに、原本を学校教育政策課へ持参し照合してください。

(イ) 「音楽」または「美術」の受験者は、前記(1)免除される条件ア(イ)に掲げるコンクールや展覧会の賞状の写しまたは団体が発行する成績証明書(開封無効)を提出してください。ただし、写しの提出者は6月6日(水)までに、原本を学校教育政策課へ持参し照合してください。

(ウ) 国際貢献活動経験者に該当する者は、独立行政法人国際協力機構が発行する証明書を6月6日(水)までに提出(郵送可)してください。

イ 前記(1)免除される条件イに該当する者は、P2の「3の受験手続(2)①」の提出書類ア～エに加えて、所定の「カ 第1次選考免除調書B」を提出してください。

ウ 前記(1)免除される条件ウに該当する者は、P2の「3の受験手続(2)①」の提出書類ア～エに加えて、所定の「キ 第1次選考免除調書C」を提出してください。

(3) 第1次選考免除対象者への通知

提出された書類等により、第1次選考免除対象者を決定します。その結果は受験票送付時に通知します。なお、第1次選考免除対象者にならなかった場合には、一般選考対象者として第1次選考から受験することができます。

7 選考結果の通知

(1) 第1次選考の結果

選考結果は平成24年7月下旬頃までに第1次選考受験者全員に通知するとともに、合格者の受験番号を福井県のホームページに掲載します。ただし、ホームページはあくまでも参考としてください。なお、合格者には第2次選考の日程等の通知を同封します。(通知書が7月31日(火)を過ぎても届かない場合は、学校教育政策課へ問い合わせてください。)

(2) 第2次選考の結果

ア 選考結果は平成24年10月中旬に第2次選考受験者全員に「採用内定」「辞退があれば採用」または「採用の見込みなし」を通知するとともに、合格者の受験番号を福井県のホームページに掲載します。ただし、ホームページはあくまでも参考としてください。(なお、通知前の問い合わせには応じません。)

イ 日本国籍を有しない者を採用する場合は、任用の期限を付さない常勤講師とします。

ウ 平成25年度大学院修士課程修了時特別選考受験者(P5)および講師等経験者(イ)(P7)による第1次選考免除者が、平成25年3月31日までに専修免許状を取得できない場合は「採用内定」を取り消します。

8 選考結果の情報提供

第1次選考および第2次選考の不合格者で選考結果の情報提供希望者には、下記の選考結果を通知します。情報提供の希望者は、志願書および登録票の「選考結果の情報提供希望欄」に記入してください。

ア ランク A (不合格者の上位)、B (不合格者の中位)、C (不合格者の下位)

イ 点数 第1次選考・・・一般教養、教職専門の各点数および合計点数

第2次選考・・・専門教科、面接、作文の各点数および合計点数

9 選考結果の開示請求

選考結果については、福井県個人情報保護条例第24条第1項の規定により、合格発表の日から1か月間に限り口頭で開示を請求することができます。請求者本人(代理人は認めません。)が、本人確認のできる書類(運転免許証等)を持参のうえ、午前8時30分から午後5時15分の間に、直接学校教育政策課へお越しください。(ただし、日曜日、土曜日および祝日は受付していません。)

10 大学院修士課程修了時特別選考(平成26年度・27年度実施)について・・・次頁参照

11 試験問題、解答例、配点の公表について

(1) 試験問題(場面指導の課題用紙は除く。)は当日持ち帰りが可能です。

(2) 解答例および配点は、採点終了後、県政情報センター(県庁1階)で公開するとともに福井県のホームページに掲載します。

12 その他

(1) 身体に障害等があり、試験会場において特に配慮を必要とする者は、出願時にその旨を文書(様式自由)で申し出てください。(身体障害者特別選考申請書を提出した者は必要ありません。)

(2) 受理した提出書類等は返却しません。

(3) 出願後に改姓した場合または連絡先の記載事項に変更が生じた場合は、必ず文書で申し出てください。

(4) 提出書類に故意に虚偽の記載をした場合、記載内容の秘匿があった場合などにおいては、採用内定を取り消すことがあります。

(5) 例年、提出書類に不備の見受けられるものがあります。添付されているチェック表を利用して必ず確認をしてください。

【大学院修士課程への進学希望者および同課程在学者の方へ】

大学院修士課程修了時特別選考（平成26年度・27年度）について

平成25年度教員採用試験（平成24年実施）を受験した大学院修士課程（以下「大学院」という。）進学希望者および在学者で、大学院修了後の採用を希望する者が、下記1または2に該当する場合には、大学院2年次において特別選考を受験することができます。特別選考では、大学院における履修状況の確認や適性検査、個人面接などを行う予定ですが、必ず当該年度の実施要項で確認してください。

ただし、特別選考の実施年度において、平成25年度教員採用試験で選択して受験した専門教科が無い場合は、特別選考の受験資格は無くなります。制度の詳細は、以下のとおりです。

1 大学院進学を理由に採用を辞退する者の特別選考（現大学4年生対象）【平成27年度特別選考】

(1) 特別選考受験条件

次の①、②の両方に該当していることが必要です。

- ① 平成25年度教員採用試験における採用内定者であって、大学院進学を条件に採用内定を辞退した者
- ② 平成27年3月31日までに、平成25年度教員採用試験において選択受験した専門教科の専修免許状を取得見込みの者

(2) 手続

- ① 平成25年度教員採用試験出願時に志願書の平成26年度・27年度大学院修士課程修了時特別選考希望欄の「希望する」を○で囲むとともに、「大学院修士課程修了時特別選考申請書」を提出してください。
- ② 第2次選考の結果発表前に、大学院に合格した者で、採用内定を辞退し、2年後の特別選考を希望する者は、第2次選考の結果発表後10日以内に所定の用紙（第2次選考結果通知時に送付）で申請してください。
- ③ 第2次選考の結果発表後に、大学院に合格した者で、採用内定を辞退し、2年後の特別選考を希望する者は、大学院の合格発表後10日以内に所定の用紙（第2次選考結果通知時に送付）で申請してください。

(3) その他

平成27年3月31日までに、平成25年度教員採用試験において選択受験した専門教科の専修免許状が取得できない場合は採用されません。

2 大学院在学中の受験者で、大学院修了後の採用を希望する者の特別選考（現大学院1年生対象）

【平成26年度特別選考】

(1) 特別選考受験条件

次の①、②の両方に該当していることが必要です。

- ① 平成25年度教員採用試験において、「平成26年度特別選考受験を認める」旨の通知を受けた者であって、大学院修了後の採用を希望する者
- ② 平成26年3月31日までに、平成25年度教員採用試験で選択受験した専門教科の専修免許状を取得見込みの者

(2) 手続

平成25年度教員採用試験出願時に志願書の平成26年度・27年度大学院修士課程修了時特別選考希望欄の「希望する」を○で囲むとともに、「大学院修士課程修了時特別選考申請書」および「大学院修士課程在学証明書」を提出してください。なお、この手続をした場合には、平成25年度に採用されることはありません。

(3) その他

平成26年3月31日までに、平成25年度教員採用試験で選択受験した専門教科の専修免許状が取得できない場合は採用されません。

「大学院修士課程修了時特別選考」の主な流れ

